

昭和43年8月1日

No. 91

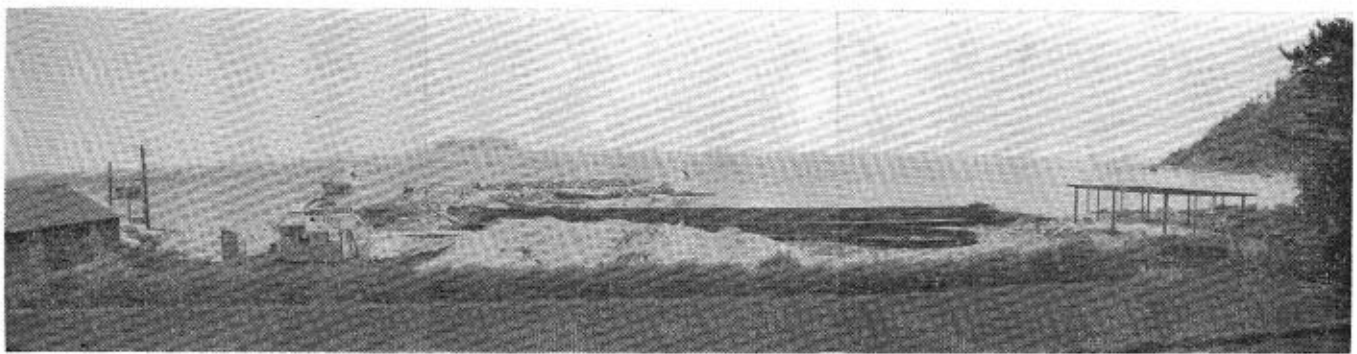


人口と世帯数

(6月末)

人口	9673人
秋穂地区	6195人
大海地区	3478人
世帯数	2310世帯
秋穂地区	1453世帯
大海地区	857世帯

町民プール建設工事進む



写真説明 (上) 正面に竹島を望む尻川海岸プール建設地 (下) 工事中の町民プール

国民宿舎秋穂荘の下、尻川海岸に建設される町営水泳プールは、八月十日完成を目標に工事が進められています。

プールは塩水で、五十米九コースが設備され公認プールとしての利用もできます。別に幼児用の円型プールも併設されます。

いよいよ海水浴シーズンにはいり、一日も早く開場することが待たれています。

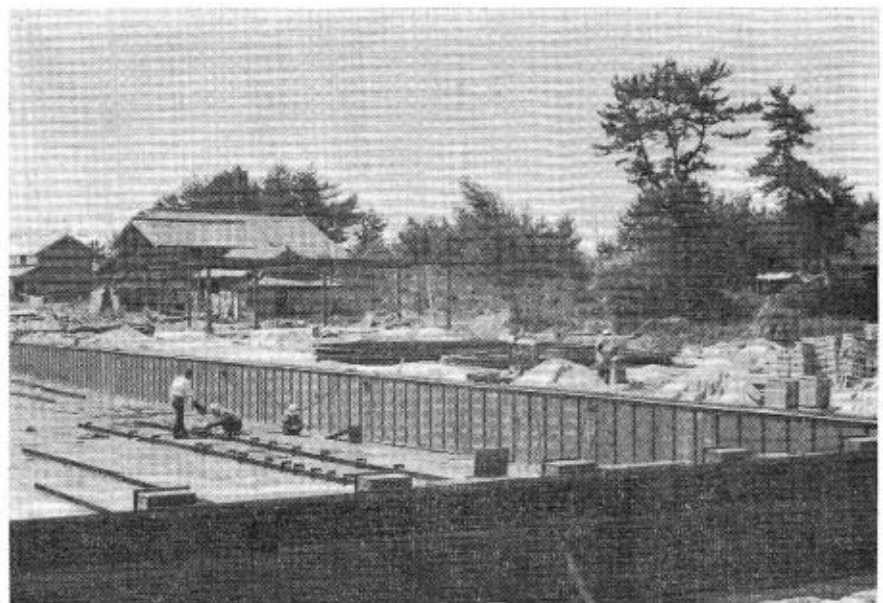
プールの使用及び利用料金は次のとおりですが、くわしいことは町教育委員会(有線六一番)へお尋ねください。

1 プールの公開
 毎年七月一日から八月三十一日までの期間、毎日午前九時から午後一時まで、午後二時から午後六時まで(但し専用使用は別)

2 利用料金
 ○ 一般使用個人
 一人一回(午前、午後を各一回とする)
 大人二十円・小人十円

○ 一般使用団体
 三十人以上の団体は一回について二割引

○ 専用使用(全プール)
 平日午前一五〇〇円
 午後三〇〇〇円
 夜間一五〇〇円
 日曜祝日
 午前三〇〇〇円
 午後六〇〇〇円
 夜間三〇〇〇円



自動車に自動車取得税

七月一日から、新しく自動車を取得したり、買いかえたりしたときに自動車取得税(県税)がその車の価格の三%の税率で課税されます。ただし取得価格が十万円以下のときは課税されません。

納入方法は陸運事務所での登録または届出をするときに申告書に証紙をはつて納入することになっています。この自動車取得税は県や市町村の道路を整備する費用にあてるため七月一日から新たに設けられたものですが、その収入額の約三分の二が市町村に交付され、道路の整備にあてられます。

「とじこんで保存しましょう」

原動機付自転車（バイク）の標識がかわります

町税賦課徴収条例が改正され月から原付自転車の標識を全部付替することになりました。原動機付自転車（排気量25cc以下）の課税標識はいままでのもは地色が白色で排気量による種類の識別は頭文字の1.2.3.の数字により標示されておりましたが、新しいものは全国的に統一された基準にあわせて次の様にかわります。

排気量50cc以下地色白色
排気量51cc～70cc以下地色黄色
排気量91cc～125cc以下地色桃色

八月中に町内の原動機付自転車の標識の全部を新しい標識に付替えるため次の日程で税務課の取員が皆さんの部落へ出向いて新しい標識に取替えますので最寄の場所へ車と印鑑を持参下さる様お願いします。

課税標識更新日程及場所

日	時	場 所	更新する地域
八月五日	自午前八時半 至午後四時半	谷圭介氏宅東 町役場	大河内北 南天神町 大河内
六日	右 全	大海支所 大海小学校	浜中 北条 中条
七日	右 全	赤崎神社裏 裏門	井南 浜内
八日	右 全	小林勝馬氏 口地	赤崎
九日	右 全	山崎和作氏宅	金山令 西青江
十日	右 全	養老院前	先青江 中道
十一日	右 全	平田研氏宅	花香南 花香北
十二日	右 全	藤田滋雄氏宅	中津江 屋戸
十三日	右 全	旧塩業組合跡	加茂町海岸通 本町上本町東
十四日	右 全	町 役 場	祇園町 下村
十五日	右 全	中野公会堂	中野
十六日	右 全	福楽寺境内	東天田 西天田
十七日	右 全	宮ノ且公会堂	宮ノ且
十八日	自午前八時半 至午後四時半	黒潟北公会堂	黒潟北
十九日	自午前八時半 至午後四時半	黒潟南公会堂	黒潟南

町民税課税状況

(単位人、千円)

年度	納税義務者 (内均等割のみ)	総所得金額	課税標準額	町民税額	年収70万円以上の 円以上の人	町民税 3万円以上 の人
43	3565 (1652)	844.765	365.480	13.089	255	126
42	3513 (1533)	796.777	363.336	15.446	182	138

昭和四十三年度 町民税の賦課状況

本年度の町民税が決定し、それぞれ納税者に納税額のお知らせをいたしましたので、その概要をお知らせします。

今年の町民税は、前年と比較して総所得金額が、四千八百万円伸びていますが、課税標準額は各種控除額の引上げ等により、わずかに二十万円の増となり、税額は逆に、二百三十五万円の減額となっております。

四十三年度から、税率の引下げを行ないましたため、町民税所得割額はかなりの減額となっており、納税も一層かくなつて税収の効果も期待されます。

花だんコンクールの中間審査を八月十二日行なう予定にしています。

健民運動

疲れをなくして ハルドルを

自動車の運転には、目に見えない疲れをとまなうも、体調にじゅうぶん気を配り、体調の悪い人には絶対に運転させないという厳格な労務管理を確立しましょう。それが夏場ではとくに要求されます。

目先の利益のために、とりかえしのつかない交通事故を起こしたとすれば、これほどソロバンに合わないことはありません。

また、運転者に対する家族みんなの理解と協力もたいせつです。

せっかく休養をとろうと思ってもまわりの人、とくに家族の理解がなければ、睡眠や休養ができるはずがありません。運転者自身の摂生と周囲の暖かい配慮とで、ことしの夏を安全に乗り切りたいものです。

安全運転の第一条件は、体調を整えてからハンドルを握ることです。

会社や事業場などでは、運転者の指導、監督の立場にある雇用主や安全運転管

○事故で負傷したときは、すぐ役場へ届出をしましょう。

○共済金の請求はおくれないように

臨時町議会

議長 末貞 巖氏

副議長 大塚健介氏決まる

町民注目の中に、七月十日行なわれた町議会議員選挙で選出された、二十名の新議員による、改選後初の町議会が七月二十二日召集され、議長、副議長など諸役員が次のとおり決まりました。

なお提出議案二件については、原案通り可決されました。

可決された議案

一、秋穂町監査委員の選任同意について

二、秋穂町税賦課徴収条例の一部を改正する条例について

町議会議長

末貞 巖

副議長

大塚 健介

常任委員会

総務委員会

委員長 片岡 薫

副委員長 安田 民子

委員 時乗 一郎

江崎 泰

福江 衛敏

藤井 旭

相山 清作

産業委員会

委員長 西村 利治

副委員長 金子 勝吉

議会選出監査委員

藤田 修三

簡易水道組合議員

相山 清作

時乗 一郎

藤田 修三

西村 利治

上田 亥佐夫

江崎 泰

藤井 薫

片岡 薫

田中 藤雄

藤井 旭

原田 政一

藤田 和男

藤田 和男

藤田 和男

藤田 和男

十月分から増額

福祉年金

◎ 老令、障害、母子等の福祉年金が、昭和四十三年十月分から次のように増額されることになりました。

◎ 老令福祉年金 現行の一〇、二〇〇円が二〇、四〇〇円(月額一、七〇〇円)に

◎ 障害福祉年金 現行の三〇、〇〇〇円が三二、四〇〇円(月額二、七〇〇円)に

◎ 母子、準母子福祉年金 現行の二四、〇〇〇円が二六、四〇〇円(月額二、一七〇円)に

◎ 配偶者、扶養義務者の所得制限額は、扶養親族数〇人の場合、現行の五十七万円が六十四万円に

国鉄キャンプ村開設

七月十三日から八月十八日まで

夏のレクリエーションとして若い人たちに人気のあるキャンプの施設、国鉄秋穂キャンプ村が黒かた海岸に開設されています。

期間は七月十三日から八月十八日までの予定で、テント、毛布その他炊飯用具等を備え付け利用料金は一人百五十円となっています。学生の団体(二十人以上)には割引があります。

利用申込は交通公社および国鉄各駅で受付けています。



このように、福祉年金は年々改善されてきています。この請求は五年経過すると時効により出来なくなり、福祉年金を受けられる人でまだ請求していない人は、折角の権利を時効により無駄にしないように、町役場保険年金課で早く請求の手続きを下さい。

◎ みんなでまもろう時間励行。

◎ ダメと思っ行ってみよう時間励行。

◎ 来てみたらすんでいたこの集会。

◎ みなさんの御協力を願います!!

、扶養親族数五人の場合、現行の九十三万二千五百円が百五十五万五千円に。

◎ 戦争公務による、公的年金と福祉年金との併給限度額は、現行の十二万九千五百円が十三万五千五百円にそれぞれ改められました。

早くしないと時効になる

旧、軍人の加算恩給、 扶助料の請求

▲加算恩給とは

旧軍人の恩給最短期間は、下士官兵十二年準士官以上十三年と決められていますが、この在取年を計算する場合、在取中戦争や事変で外地に勤務していたときは加算が認められ、実在取年に合算されます。この加算年は、勤務地(外地)や時期に応じて違いますが、その期間一月について最低三分の一月から最高三月が加算になります。また、昭和

二十年九月二日以降引き続

いて海外にあった者には、

帰国するまでの期間一月に

つき一月の抑留加算が加え

られますが、これらを合計

した年数が最短期限以上あ

れば、請求により加算恩給

が支給されます。また、最

短期以上以上の者が請求しな

いで死亡した場合には、そ

の遺族に対し扶助料が支給

されるものです。

第二回「青年の船」

団員に下村の中田さん

総理府が募集を行なっていた昭和四十三年度「青年の船」の一般団員候補者に山口県から五人が選出されその一人に中田笑子さん(下村)が決定しました。

「青年の船」は明治百年記念事業の一つとして政府が実施し、「青年の船」で東南アジア諸国を巡航して各国青年との交歓、日本文化の紹介、各地の視察、見学等により国

際的視野を広め、国際協

力の精神を涵養し青年に

日本の姿を正しく理解さ

せることを目的として行

なわれ、十八歳から二十

六歳までの男女青年約三

百名が九月下旬から十一

月中旬まで約五十日間の

予定で中華民国、フィリ

ピン、タイ、シンガポー

ル、マレーシア、インド

、セイロンなどを訪問す

ることになっています。

ついで昭和三十七年十月から、扶助料については昭和三十六年十月から七年の間に請求しないと、次の期日で時効により請求権がなくなり、請求できなくなります。

普通恩給

昭和四十四年九月三十日

扶助料

昭和四十三年九月三十日

母子世帯員等に

国鉄定期乗車券の特別割引

昭和四十三年四月一日から国鉄の通勤定期乗車券の料金が改定されましたが、その事項に該当する人には従前の割引率で通勤定期乗車券が発売されます。

記

一、対象者

国民年金法による母子福祉年金、準母子福祉年金(拠出制の母子年金を除く)、児童扶養手当を受給している世帯員及び生活保護法による被保護世帯員

二、定期券購入手続

①特定者資格証明書交付申請書(住民課にあります)に本人の写真一枚と印かん及び特定者であることを証明する年金証書又は児童扶養手当証書を持参下さい。

▼請求は今すぐに以上のように、時効期日が間近に迫りましたが、尚相当数の未請求者があると思われ、軍歴のある方は念のため町役場保険年金課に申出の上、備え付けの職務加算表により試算され、折角の恩給権を時効により失うことのないよう、御注意下さい。

//きけんな場所、きたないところで、泳がないようにしましょう。
(池は、水泳禁止場所)

新規学卒者(中学・高校)の求人職安へ

さいきは、若い人たちが雇い入れることがだんだんむつかしくなり、とくに新しく中学校を卒業する人が年々減少して非常な求人難となっています。

現在のところ山口取安管内で昭和四十四年三月に卒業する見込の人が、中学約二、五六〇名、そのうち就職希望者約一六〇名、高校約二、三二〇名で、そのうち就職希望者約一、二五〇名となっています。

これに対し県内はもちろん県外各地から求人が殺到する情勢でありますので、

身体障害者(児)及び戦傷者の無料巡回相談
身体障害者身体障害者及び戦傷者の更生援護を図るため昭和四十三年度の無料巡回相談が次の日程で行われます。

記

一、期日及び場所

昭和四十三年八月六日 午前十時～十四時まで

阿知須小学校

二、相談科目

整形外科、眼科、耳鼻いんこう科、内科

三、相談内容

医学、補装具、職能的判定、手術後の指導、更生援護施設等の入所判定、障害年金手続、その他

職業訓練所

生徒募集

昭和四十四年度職業訓練所訓練生の募集が行なわれますので、希望者は、昭和四十三年十一月二十日までに山口公共職業安定所又は各職業訓練所にお問合せの上、入所願書を提出のこと尚訓練職種はそれぞれの職業訓練所(県内七ヶ所)によつてことなっています。

山口市本町二丁目三十一
山口公共職業安定所
電話③〇〇四三

公民館だより

家族そろってラジオ体操を

ラジオ体操推進期間 7/22から8/31まで

◎体操は軽装で……。からだは自由に動かせるように、なるべくうす着で運動しやすい服装を、そして、皮ふのたん練をしましょう。

◎体操をはじめる前に……。まずよい姿勢をとりましょう。胸をはって、腰をのばして、よい姿勢こそ健康のもとです。

◎体操はごく自然に……。りきまないで自然な気持ちでリズムにあわせて、からだを動かすだけでも充分に効果はあがります。かつこうばかりでなく、

会員募集

海外移住 やまぐち 友の会では、得來海外へ移住または海外移住について関心をお持ちの方で海外諸事情について調査研究し、国際社会の一員として正しい知識を身につけたいと希望される会

員を募集しています。入会を希望される方は、関心を持たれている国に より北米部会（主として北米合衆国、カナダ）、南米部会（ブラジル、パ

ラグアイ、アルゼンチン）の別、それに会費三百円を添えて海外移住やまぐち友の会（小郡町、農協会館内）へお申し込み下さい。（会費の送付は振替口座下関五八〇三をご利用下さい）

公民館結婚式に 料理飲食税がかかります。

町民のみなきまになじま

れ普及してまいりました公民館結婚式も開設以来十余

年を迎えました。これも町民みなさんの御協力、御支援のたまものと感謝いたし

ております。しかし、簡素だった結婚披露も時代の交

換により次第に華美なものになりつゝ、あります。このたび、会場で披露宴が行われる事に対しては「飲食」がともなうというこ

を上手につかってくたさい。

◎体操はからだの歌です。

●明るく楽しいふんいきで体操をたのしみましょう。ご家庭のだんらん

●そして呼吸をごく自然にいたしましょう。大きな動きのときに呼吸をと

●そして体操は毎日つづけることがかんじんです。

家庭教育学級 に参加を！

両親が家庭で我が子に行

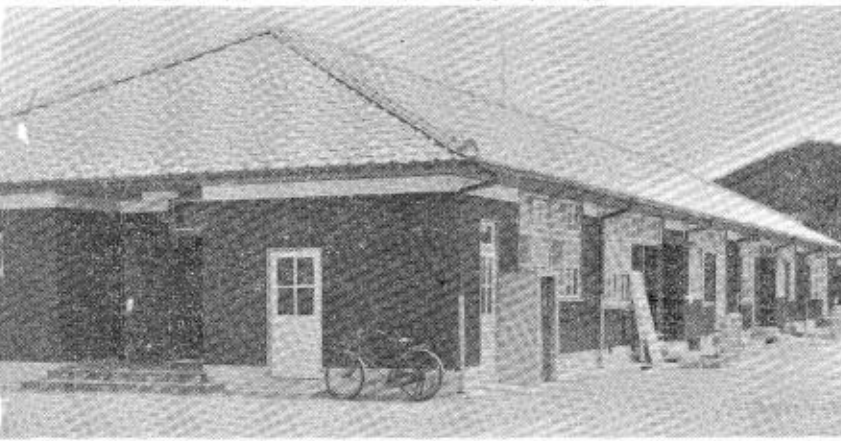
なう教育、つまり発達段階に応じたしつけや家庭生活のあり方、学校との関係等

黒潟保育所 新園舎に移転

児童福祉施設として、かねてより国民

年金融資を受けて建築中の黒潟保育所がこのほど竣工し、七月はじめ移転しまし

た。六十名の園児たちは新しい園舎で健全な遊びと集団的指導を楽しむこととなりまし



についての家庭教育学級を次の様に開設しています。

◎幼児家庭教育学級……小学校一年の両親を対象場所、各保育所
◎地区家庭教育学級……小学校一年の両親を対象

健康な赤ちゃんを迎えるための 母親学級

生まれる前から育児がは

じまるともいわれる受胎教育をねらいとした母親学級を七月から九月までの三ヵ月間、町公民館で開いています。

学習内容は
○母性保健○妊娠の生理衛生○お産の準備及経過○新生児保育○妊産婦の栄養○赤ちゃんをとりまく家庭内での人間形成、家族計画等

開設予定の 講座及学級

○婦人学級

部落内でのお母さん方との対話をねらいとした移動婦人学級（町連合婦人会と共催）

○營養学級

日常の食生活課題をとりあげての栄養グループ
○成人学級
新しく父親となられた方々を対象に成人学級

楽しさをます 芽立ち学級

来年度の成人該当者を対象

に芽立ち学級を開いています。日時及学習内容は次の通り

○毎月第一金曜日午後七時より（次回八月二日）

○ところ 町公民館講堂
○内容 会食、社交ダンス講習、講話及び話し合い学習（視聴覚教材利用）多数参加して下さい。

夏休み中の

子どもの指導

夏休みは子どもたちにとって、楽しいものです。そして、学校中心の生活から家庭中心の生活に切りかわるところに大きな特色があります。ここで、あらためて家庭の役割をみなおしてみることによきましょう。

○規律正しいよい習慣

日ごろつちかわれた規則正しいよい習慣が夏休み中にくずれないように、家族全員が協力して指導にあたりましょう。

子どもたちは、いろいろな希望をもちこんだ生活計画をたてます。せつかくの計画が計画倒れにならないよう、適当な助言や激励をし「計画はたいせつにするもの」だということを教え

○健康・安全には万全を

ましよう。また、生活計画を実行していく過程で、子どもたちはいろいろな困難な問題に出合うことでしょう。このようなときは、指導のチャンスです。慎重に問題を決したり、困難に耐えてものごとをやり遂げるなど、成功のよろこびを味あわせるよう指導することがたいせつです。

海や野山に出かけて、自然に親しむ生活を体験させることは、心身の健康を増進するためにたいへんよいことです。

水泳や登山などの実施については、じゅうぶんな準備と計画のもとに行なうことを指導してやりましよう。また交通安全については細心の注意を払い、環境に応じた具体的な事前指導をしておくことがたいせつです。

○家族や社会の一員として
何よりも愛情と信頼に満ちた家族の一員に育てたいものです。

そのためには、日頃の生活の中で家族のあたたい心の接触を深めていく心がけがたいせつです。

お互いに心のゆとりをもつようにし、家族全員のだん

らんの場と機会をくふうすることもよいことです。

家事の手伝いなどをおして、家族の一員としての自覚をもたせたり、また地域のいろいろな行事などに積極的に参加させて、社会の一員としての奉仕と協力を教えることもたいせつなことです。

○常に子供の動静を
親が子どもの生活を知ら

ないのは、家庭教育上たいへんいけないことです。子供の生活を知らないままで「うちの子に限って」ということが意外に多いものです。

いつも子どもの動静には気を配り、子どもの生活をつかむようにしなくてはなりません。

第一日曜日は
家庭の日です

その他 二〇、七三四円が支給され、年一回昇給するほか、諸手当や勤務に必要な被服類、靴も支給。

なお、大学卒業者には、県警察学校での教養期間、昇任試験の受験資格年限が短縮される。

五、受験手続と問い合せ
近くの警察署、派出所、駐在所でおたずねください。

六、受付期間
昭和四十三年七月一日から九月九日まで

山口県警察官募集

- 一、採用予定人員 約八十名
- 二、受験資格

(一) 学歴は問いませんが、高等学校卒業者と同等以上の学力が必要

(二) 昭和十六年四月二日から昭和二十五年四月一日(昭和二十五年四月一日)

- 一、採用予定人員 昭和四十四年三月までに高等学校を卒業する見込みの者は、昭和二十六年四月一日までに生まれた男子に限る。
- 三、試験

定期巡回児童相談所開設

山口県中央児童相談所ではより多くの子供の福祉と親の健全育成思想を高めるため左記の日程で巡回児童相談所を開設の予定です。

相談内容は子供のしつけ遊び、わがままや反抗などの相談、子供の能力や性格の相談、家庭学習のあり方などの相談、その他子供を幸せにするための相談ですが、どんな内容のことでも結構です。お気軽に相談においで下さい。

社協だより

健康できれいな町づくり

保健福祉活動推進地区に指定

このたび秋穂町社会福祉協議会では町民が健康で明るい生活を営むことが出来るように、健康の増進、環境の改善を目的として、秋穂町の全域を保健福祉の地区組織活動推進地区指定をうけ、三カ年計画で「健康

できれいな町づくり」を目標として地区組織活動を推進するため全町あげて問題解決にとり組むことになりました。

この活動の推進については多くの困難が伴いますがそれだけに関係機関、諸団

善意銀行からお礼

次の方々からご寄附を戴きました。誠に有難うございました。(敬称略)

一金壱千円 大河内小林蘭男

- 一金壱千円 先青江山本篤彦
- 一金壱千円 宮の且内田 友
- 一金壱千円 屋戸 浦崎武二
- 一金壱千円 中条 藤村信幸
- 一金式千円 中条 坂本孝治
- 一金壱千円 封 日地 河村やすよ
- 一金壱千円 北条 三好保雄
- 一金式千円 加茂 松村 寛
- 一金壱千円 浜内 倉橋良助
- 一金式千円 日地 藤田武彦
- 以上香典返しとして
- 一金壱万円 中条 相山清作

- 一、期日 昭和四十三年八月二十二日午前十時午後三時
- 二、場所 秋穂町社会福祉協議会(防長バス車庫隣)

快気祝として

短大卒 二四、二八八円